

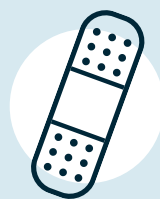
麻疹の予防

旅行前と旅行後



麻疹は、特に乳幼児にとって危険な感染症です。麻疹が重症化すると入院を余儀なくされ、死に至ることもあります。

麻疹は世界の多くの地域で依存として蔓延しています。麻疹の予防接種を完了していない人が、海外旅行や麻疹が流行している地域に行くと感染するリスクがあります。



麻疹、おたふくかぜ、風疹(MMR) ワクチンを接種することで、あなた自身とあなたのお子様を麻疹から守ることができます。

海外旅行の前にすべきこと

1. 医師、看護師、または診療所に相談し、家族全員が麻疹の予防接種を受けていることを確認してください。
2. 出発の2週間前までに予防接種を受けてください。
 - 生後6か月～11か月の乳児はMMRワクチンを1回接種してください。
 - 12か月以上の方(成人も含む)は、旅行前に合計2回接種してください。
 - これまでに予防接種を受けたことがない場合は、すぐに1回目を接種してください。2回目は28日後に接種することができます。
 - 以前に1回接種したことがある方は、旅行前に2回目を接種してください。
3. 旅行まで2週間を切っている場合でも、MMRワクチンを1回接種することができます。

米国の麻疹が流行している地域への旅行を計画している場合は、医師、看護師、または診療所に相談し、家族全員が麻疹の予防接種を受けていることを確認してください。

海外旅行後または麻疹が流行している地域への渡航後にすべきこと

1. 帰国後3週間は麻疹の症状に注意してください。麻疹の感染力は非常に強く、他の人への感染が急速に広まる可能性があります。
2. 以下の場合、すぐに医師または診療所に連絡してください。
 - あなた自身またはあなたのお子様が麻疹に感染したと思われる場合。
 - あなた自身またはあなたのお子様に発疹または発熱の症状が出ている場合。医師に渡航先およびあなた自身とあなたのお子様がMMRワクチンを接種したかどうかを伝えてください。
3. あなた自身またはあなたのお子様に発疹および発熱の症状が出ている場合は、医師または診療所に相談するまで自宅待機してください。



詳細はこちら